

# ひろば大代

NO. 290

大代公民館

H15. 9. 23

|| 敬老の日特集 ||

米寿を迎えて

四日市

竹島晴義

私の二十代三十代は、事変、戦争と激動の時代でまたたく間に過ぎた様に思います。歳を重ねるにつれてさらに時間の過ぎるのが早く感じられるようになりました

戦火終息して五十七年、衣食住が満ち足りた国となりました。

ここでひとつ、生甲斐を何かに見だし、前向きに上を向いて生きることを考えてみたいものです。何かに打ち込み学ぶことが、老後の安泰につながると思います。

敬老の日、多くの方々祝福されて有難い事です。心からお礼を申し上げます。

## おめでとうございます

八十八歳を迎えて

下市

佐藤茂里枝



大正三年の十二月、この世に生を受けて八十八年、あつという間に過ぎました。

平和だった少女時代、戦中戦後の混乱期、幸いに大病もせず、これも偏に神佛、父母のお陰と感謝の念をささげます。

近頃は午後4時頃になると親しい方と散歩し高山を眺めて、はるかに三瓶も見える日もあり、いろいろとお話したりして帰ります。

温かい家族の者たちに守られて幸せな毎日を感謝しながら生きる事を嬉しく思っています。



|| 喜寿を迎えて ||  
今の気持ち

上市 岡 平

敬老の日は、公的に決められて久しいが、まさか自分が受ける立場となるとは思っていなかったし、喜寿が言われるほどめでたいのかどうか、昨年一歩早く医師会で言われて戸惑いを覚えたくらいで、未だぴんと来ないと言うのが、公民館のご依頼の「今の気持ち」です。

生けるものすべて成長し、年をひろい、成長が停止し、完成したときは少しずつ歯が脱落するように、衰退が始まっているもので、それが如何ともし難い生物の摂理で、むしろ嘆かわしいことではないかと思うのですが、皆さんはどう思われますか。

「否、そのレベルまで曲がりなりにも人生を持っていったことが、あらゆる面で優秀だったんだよ」と言うてくれた人も多くあって気恥ずかしくもありましたね。

人生は、努力も必要、仕事を果たすことも必要ですが、肝心なことは、そ

の成果が小さくとも実を結び、人々の上で後世に役立つたかどうか各人の価値を決めることになるのではないのでしょうか。その点、自分では忸怩たるを覚えます。

しかし、これからが、まだあり得るのでしょうか。神佛に祈るより他にないでしょう

他の同人の方には、冗言多謝します。

(平成十五年の佳日を前にして)

## 喜寿を迎えて

上飯谷 畑 幸代

今年は例年になく雨が多くどうなることかと心配しておりましたが、今のところ、稲穂も豊作とはいえませんが、実りつつあります。

喜寿のお祝いをしていただき感無量です。お世話していただき皆様にはお忙しい中、感謝しております。

過ぎ去ってみますと早いもので、私なりに、毎日忙しく暮らしております

## いつまでも お元気で

うちに七十七歳になり、夢のようです。まだお陰様で元気で、農業を少しずつ手伝っております。これからも体にならぬ限り、出来る限り頑張っていこうと思っております。どうかよろしくお願い致します。

簡単ではございますが、お礼の言葉といたします。有難うございました。

## 五十六年を振り返って

椿 山口富士枝



私も何時の間にか、喜寿を迎えることが出来、大変嬉しく思っております。思えば十一年の頃より支那事変が始まり、終戦は二十才でした。物資の不足は大変なものでした。時代の一番悪い二十一年の春、この地に私は嫁いできました。

毎日労働の明け暮れ、その中において、昭和二十八年十二月五日、正月を前にして家屋火災を出し、

九人が焼け出され、その節は町民の皆様をはじめ、椿自治会の皆様には多大なご迷惑をかけ大変お世話になりました。あれから丁度五十年、十年前から一人暮らしとなりました。4人の子供も速くで見守ってくれていますので、それを頼りに自分の身丈にあつた労働をやりながら、尚地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、今が一番幸せと感謝しております。

欲を申しますと、昔、私が六十才になったら夢とは大きく違い、残念な面も多々ありますが、今の時代に合わないことは思っても仕方がないことです。

昔の理想を方向転換しながら、少々あきらめの心境を持って暮らして行けばと思っております。どうぞ皆様今後も宜しくお願い致します。

## 喜寿を迎えて

四日市 荒本恵宗

「人生七十古来稀」と杜甫の曲江詩にあります。その七十才を祝うて

頂いてから、あつという間に七年が過ぎ、喜寿を迎えました。

幼少の頃は、虚弱体質で浜田中学校に入学してから鍛えられ、身長も伸び、中学五年生の頃、やつと人並みになったように思います。海軍に入隊し、体力に自信ができました。

戦後は、父も元気で寺院を護っていましたので、教職につき、若い頃の教え子達も還暦を迎える年齢になりました。

郷里の大代中学校に七年勤めさせて頂き、定年まで二年を残し、退職しました。

明治五年の浜田地震で倒壊焼失した本堂再建をかねてより考えておりましたが、退職後すぐに着工し、一年後の昭和六十一年三月に、皆様のお力添えによって、百十三年ぶりに落慶法要を厳修することができました。しかし、その翌年心筋梗塞で倒れ、以後六回入院退院を繰り返して、三回は危篤状態に陥り、今こうして元気であることが不思議でなりません。

現在は二週に一度通院し、検査や薬を頂いていますが、最近是小康を

得て喜寿を迎えることが出来たこと、この上なく嬉しく感謝しています。

古代インドでは、人生を四つの時期に分けて考えていたといわれています。

◎様々なことを学ぶ「学生期」。

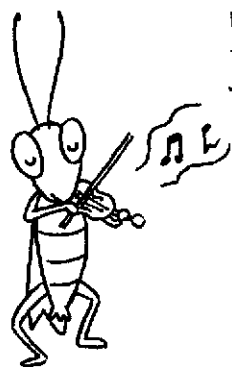
◎一家を構え仕事に励む「家住期」

◎人生とは何かを思索する「林住期」。

◎すべてを捨て去ってこの世を終える「遊行期」。

私もこの最後の遊行期に入り、四つの時期を一通り経験する程、長生きさせて頂きました。

人生のしめくりをして、この世を終える時期にあたって、如来様の誓いを信じ、お念佛の中に生かさせて頂いていることの喜び、穏やかに静かに終えたいと思っています。



## 敬老の日を迎えて

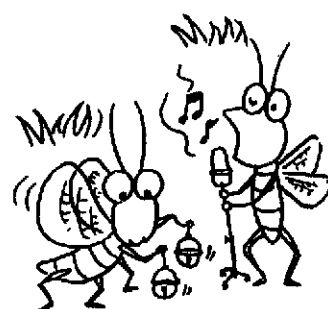
本郷 松井ユエ

毎年九月十五日「敬老の日」を迎えるたびに、今年も元気で参加することが出来たことに感謝します。

特に大正末期から昭和の変わり目に生まれた私たちに、喜寿のお祝いをいただき、有難うございます。。。。。

「七十歳を過ぎたころから足腰の衰えを感じ、正座が出来ないヒザの痛みに悩まされ続けました。

喜寿を迎えた今年、周囲のすすめもあって思い切って手術を受けました。ヒザが曲がらない後遺症は残りましたが、痛みが徐々に緩和されるだろうとリハビリに励んでいます。



私は姉妹二人で、その姉も五十歳中ばにして、或る日、突然この世を去りました。

敬老の日、私達は家族や孫たちに支えられて、今日喜寿を迎えることが出来たことを感謝しています。

これからも周囲の方や家族に迷惑をかけないで、寝たきりにならないよう、姉の分まで頑張って一生懸命生きていきたい思っています。

有難うございました。

### 喜寿を迎えて



上飯谷

原田政明

四季折々の美しい大江高山の麓に生まれ、おいしい空気を腹一杯に吸い込み、あまい水にも恵まれ育ちました。

思い出せば、戦中若くして海軍に入隊、終戦後、沢山の引揚者の方々を日本に連れて帰ってあげました。

物のなかつた時代でしたので、お互いに一生懸命に周りの人と助け合いな

がら、田畑で作物を作り、冬には都会に出稼ぎに行きました。

昭和二十四年、八代で若い者が寄つて神楽団を作り、三谷村から伊藤さんに夜教えに来てもらいました。明治の方なのでとても厳しかったです。

東京高山会へも招待して頂きました。一年一年、歳を重ね、神楽に出ることも遠のぎました。

今年喜寿を迎え、有難く思っています。又友達と死別した淋しさが一杯です。

今日は沢山な方々がお世話して下さい、お祝いをして下さいました事を厚くお礼申し上げます。

### 有難うございます。

下市

原田照子

九月十五日は、溢れんばかりの愛情一杯の敬老会にお招きいただきまして、とても嬉しゅうございます。

徒らに歳を重ねた私、恥ずかしくて赤面して居ります。皆様の大きな支えにより、恵まれた今日のある事、お陰

さまと手を合わせて居ります。

五十五歳の時に風邪が元でC型肝炎になり、只今同居しております。

願ひますれば、大勢のお方にご恩をいただいた事、ただ感涙しきりでございます。あと何日、生かされるかはわかりませんが、お邪魔虫にならぬよう精進して参りたいものです。

よろしくお導き下さいませ。限りないお礼を申し上げます。  
有難うございました。

|| 新会員 ||

### 今後ともよろしく

四日市

鈿 昭人

今年から敬老会に招待される歳になりました。喜んで出席させてもらいます。

青春時代は戦中戦後と、食糧難の時代も今は昔話になりました。自分が老いて、初めて「老いる」とはこういう事かと分かりました。

近頃ヨッコイシヨの掛け声を一日

に何度か使います。思わず知らず、自然に出る言葉でしょうか。上げたはずの足でつまづくこともあり、情けなくなりません。

物忘れで人に会うのも、「おっくう」になり、引きこもり症候群の前兆でしょうか。

今後は健康に気をつけて素直に余生を大切にしたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

## 七十五歳になつて思う

弓久 高村公子

初めて敬老会に招待され、喜びと共に長い人生が色々と思ひ出されてきます。

私は祖式町より嫁入りし結婚五十四年になります。ずいぶん昔のような気がします。元気で仕事を一生懸命しながら、子育てもしてきました。

長寿高齢者として生きていくと思えば、若い人や子供たちに申し訳ないような気がします。現在、曾孫が十人の曾祖母になりました。

幸いお寺「了真寺」の近くで生活したことが何より良かったと思います。これから病気がちな残りの人生をこの住み慣れた山間集落で過ごしたいと思っています。

## 敬老会に出席して

弓久 窪田貞子

今日は敬老の日に出席させて頂きまして有難うございました。大変嬉しく思います。

地元の方々、各種団体の皆様方に長寿を祝っていただきまして、心から感謝して居ります。

私達の同級生も多く、亡くなられておられますが、私は今日の日まで長生きさせてい頂いた事を幸せに思っております。

これから一日一日を大切に、主人と共に頑張ろうと思つて居ります。

また来年も元気で皆様方とお会いできます事を念じて居ります。どうも有難うございました。



## カンアオイの

### 仲間たちの旅

島根県立三瓶自然館

学芸員 井上雅仁



## 私達の大江高山講座 第六回

ギフチヨウの食草であるカンアオイの仲間。大江高山に生育しているものはミヤコアオイという種類のようなです。葉に美しい模様様の斑が入るため、山野草としても親しまれています。

徳川家の「葵の御紋」は、フタバアオイという、この仲間がモデルになっているそうです。この植物の姿を思い浮かべることが難しいなら、「葵の御紋」のハート形を思い浮かべてください。ちなみに和名の由来は、冬でも葉が緑色で、葉の形がアオイ類（カンアオイの仲間とは異なるアオイ科の植物群）に似ているためといわれています。

さて、多くの植物は地面に根を張っているため、動物のように身軽に移動

することはできそうにありません。そんな植物たちは、種子によって自分達の生活場所を広げていきます。

風に乗り飛んでいくタンポポの綿毛は、植物たちの分布拡大戦略の身近な例といえるでしょう。

ところでカンアオイの仲間はどうでしょうか？

大江高山でみられるミヤコアオイは、4月ごろ、根元に径2cm程の暗紫色の花をつけます。ちょうどギフチョウたちが舞う頃ですね。

種子は熟すと、その場に落ちてしまいます。種子からアリの好む成分が出ているため運んでくれますが、その距離は長いものではないそうです。そのため、次の世代の芽生える場所は、親株のすぐ近くになる場合が多くなります。

このように、カンアオイの仲間たちの世代を越えた旅は、とても歩みの遅いものになります。



★ ★ お知らせ ★ ★

**全国優勝！**

おめでとうございます

谷口亜弥さん (柿田出身)

8月19日、全国中学校体育大会、女子柔道63キログ級で谷口亜弥さん(浜田三中在学中)が優勝されました。今後の活躍を期待いたします。

**公民館より**

**パソコン初級者講習会のお知らせ**

公民館では初級者の方を対象にIT講習会を次の日程で開催いたします。参加費無料です。各先着10名

◎日時 10月16日～17日

昼 午前9時～午前12時

夜 午後7時～午後10時

場所 大代小学校屋体

ミーティングルーム

申し込み締切り10月10日(金)

公民館までお早めに

**東京石見高山会**

総会出席者募集！

月日 11月9日(日)

場所 島根イン青山

参加希望の方は公民館までお早めに

\*\*\*  
\* 10月行事予定 \*

▼ 12日(日) 高山登山道草刈

午前8時 山田集会所集合

▼ 19日(日) 福祉弁当

▼ 21日(火) さくらんぼ教室

▼ 23日(木) 連合自治会

**お礼**

◎大代高山会より

埼玉県 松野 広 様

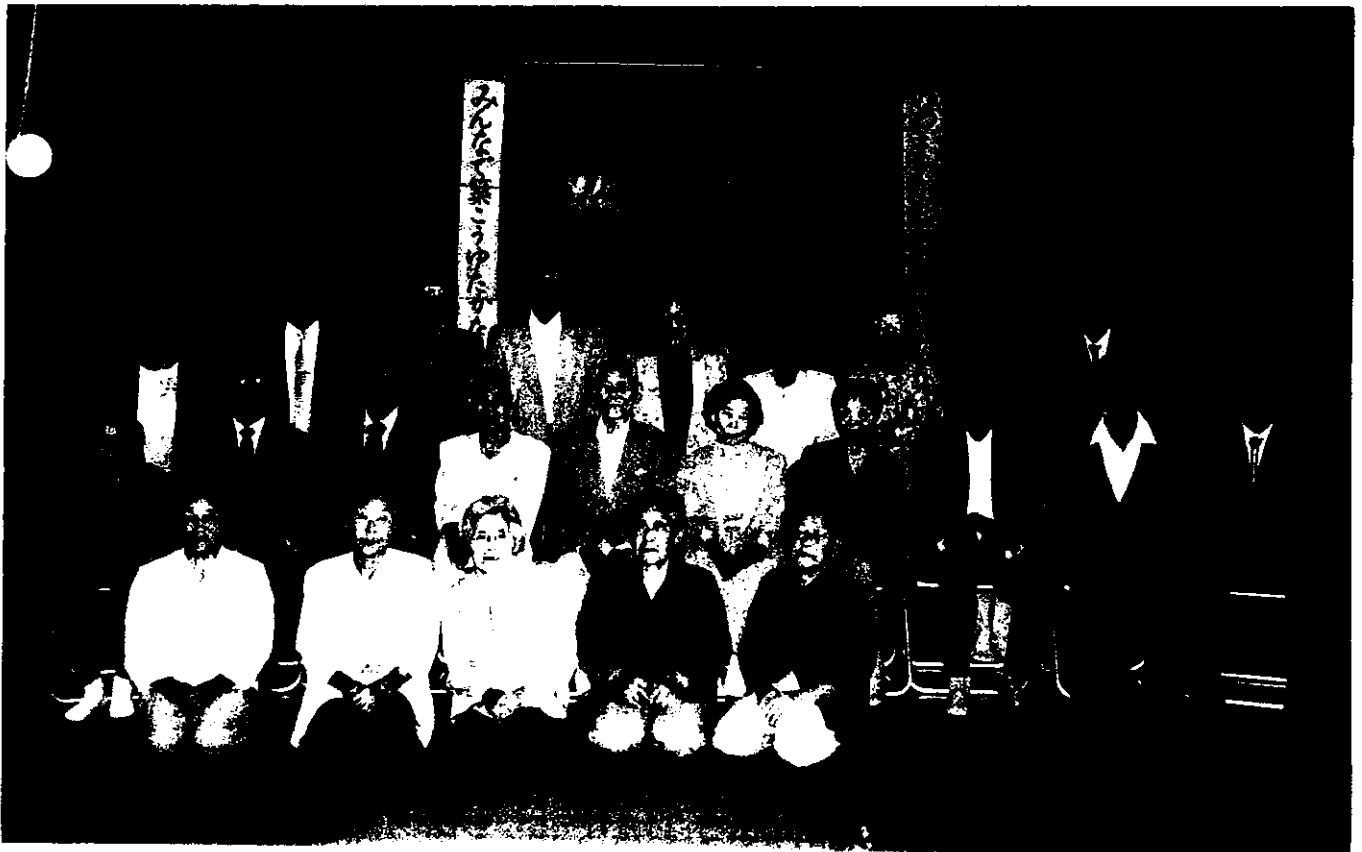
大阪府 田中公道 様

先日、金一封のご寄付を頂きました。

厚くお礼申し上げます。



未ながいお幸せを祈念申し上げます





あなたのご長寿を心からお祈り申し上げます

